



平成25年9月6日
大洲河川国道事務所
山鳥坂ダム工事事務所
野村ダム管理所

平成25年9月台風17号による肱川の出水状況

肱川では、平成25年9月4日に台風17号に伴う豪雨により大きな出水に見舞われ、矢落川新谷水位観測所(新大橋地点)では避難判断水位2.78mを超え、最高水位は2.85m(観測史上第3位)に達しました。また、大洲第二観測所(肱川橋地点)では、はん濫注意水位3.8mを超え、最高水位は4.27mに達しました。

今回の出水は、ダムの洪水調節効果により菅田地区の県道44号及び田畑等の大規模な冠水は防ぐことが出来ました。

なお、資料における数値は、平成25年9月6日12時現在のものであり、今後修正する可能性があります。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「NO.6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先

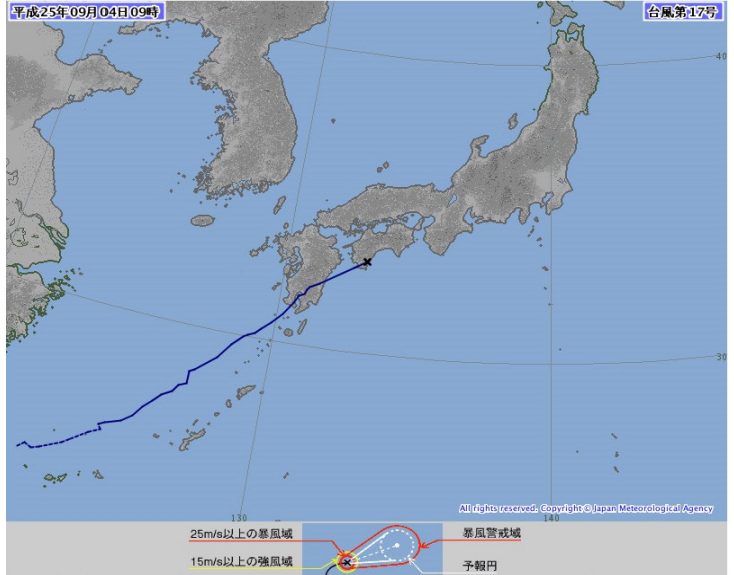
国土交通省	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	Tel: 0893-24-5185(代)
	◎副所長	野本 稔浩(ノモト タダヒロ)	(内 204)
	調査課長	中塚 光 (ナカツカ コウ)	(内 351)
国土交通省	四国地方整備局	山鳥坂ダム工事事務所	Tel: 0893-34-2350(代)
	副所長	三宅 和志(ミヤケ カズシ)	(内 204)
	事業計画課長	藤田 博史(フジタ ヒロシ)	(内 331)
国土交通省	四国地方整備局	野村ダム管理所	Tel: 0894-72-1211(代)
	管理所長	鷺津 隆廣(ワシヅ タカヒロ)	(内 201)
	管理係長	井上 博文(イノウエ ヒロフミ)	(内 332)

◎ : 主な問い合わせ先

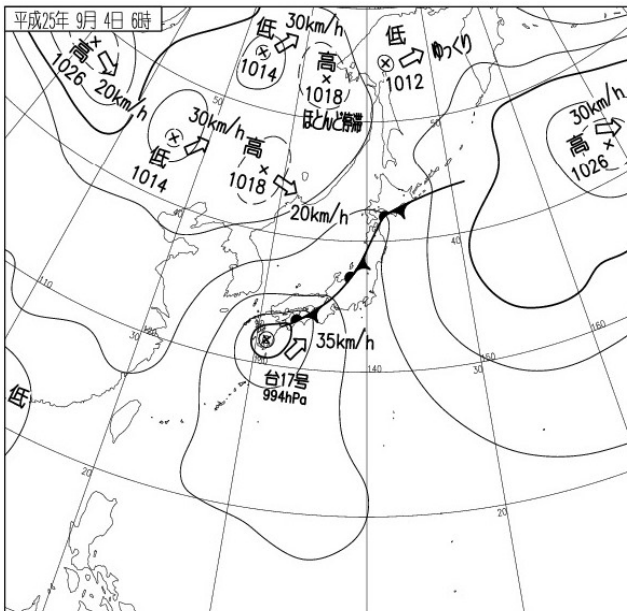
気象の概要

■台風経路図（気象庁提供）

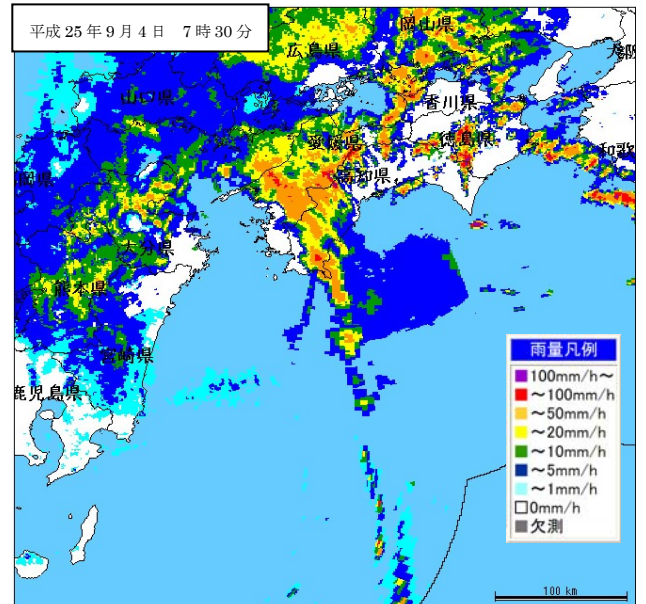
9月2日に日本の南海上で発生した台風17号はゆっくりと発達しながら西に移動し、沖縄本島近海で停滞した後、速度を早めつつ勢力を保ちながら九州上陸後、速度を速めながら高知県に上陸し、9月4日の9時頃に温帯低気圧に変わりました。湿った空気により日本列島の前線が活発化し、肱川流域に多くの雨をもたらしました。



■天気図（気象庁提供）



■レーダ雨量実況図（国土交通省）



■出水経過一覧（9月3日～9月4日）

9月3日 14時13分 大雨洪水注意報発表（気象庁）

9月4日 07時03分 大雨（土砂災害）警報発表（気象庁）

07時30分 はん濫注意水位2.20m超過（矢落川）

大洲河川国道事務所 注意体制

08時30分 避難判断水位2.78m超過（矢落川）

大洲河川国道事務所 警戒体制

08時50分 最高水位（2.85m）記録（矢落川）

10時20分 水防団待機水位2.80m超過（肱川）

水防警報（準備）発令

11時30分 はん濫注意水位3.80m超過（肱川）

水防警報（出動）発令

12時50分 最高水位（4.27m）記録（肱川）

15時10分 水防警報（解除）発令

16時30分 大洲河川国道事務所 注意体制移行

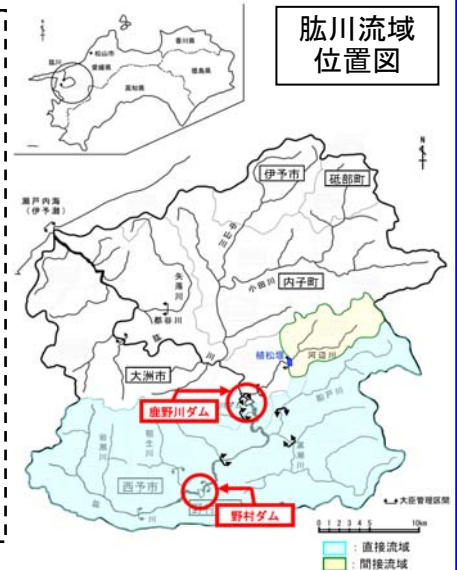
18時00分 大洲河川国道事務所 注意体制解除

ダム整備が効果を発揮(愛媛県 かのがわ 鹿野川ダム・野村ダム 肱川) (国管理)

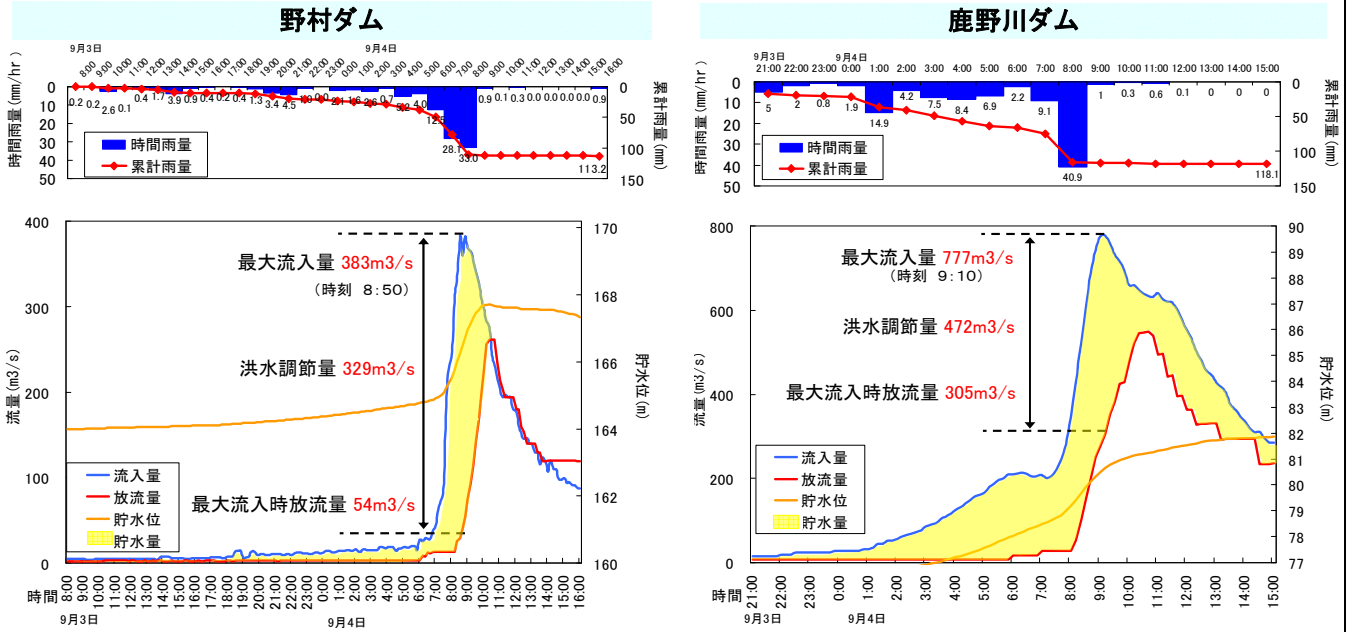
○9月4日台風17号の上陸に伴い肱川流域の広範囲に激しい雨を観測
 鹿野川ダム流域平均 最大**41mm/時間**，累計**118mm**
 野村ダム流域平均 最大**33mm/時間**，累計**113mm**

○肱川上流域に整備・運用されている「**鹿野川ダム**」及び、その上流に位置する「**野村ダム**」により洪水の調節を行った。
 なお、渇水により貯水位が低下していたため、さらなる効果が発現できた。

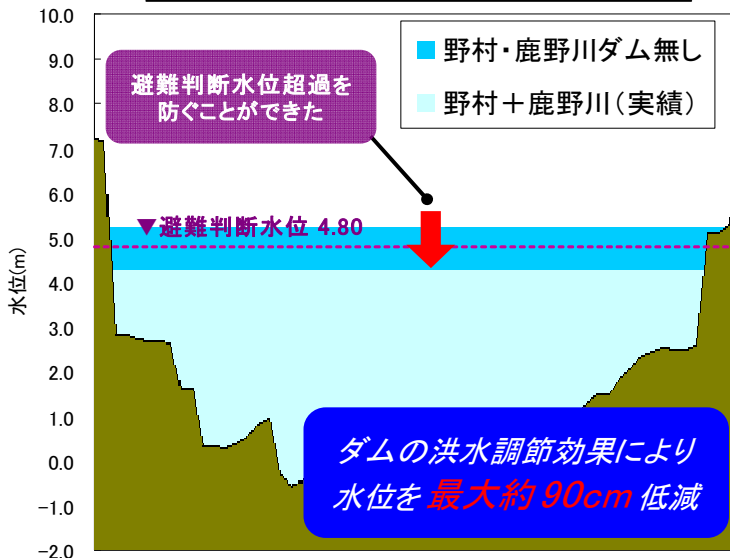
○その結果
 ・避難判断水位超過(肱川橋地点水位 4.80m)を防ぐことができた。
 ・菅田地区においては、県道44号線及び田畑等の大規模な冠水は防ぐことができたと考えられる。



野村ダム・鹿野川ダムの洪水調節



ダムによる洪水調節効果(肱川橋地点)



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

東大洲地区における浸水被害軽減効果

今回の台風17号出水においては、排水ポンプ車の排水効果及び大洲市貯留施設の貯留効果により、東大洲の浸水範囲の減少及び市道弁天田野々線の冠水を防止することが出来ました。
(浸水範囲62ha、軽減効果範囲8ha)



排水ポンプ車 V=45,900m³
大洲市貯留施設 V=23,500m³
合計 V=69,400m³の軽減効果
25mプール 約170杯分の貯留効果

大洲市貯留施設(ふれあいパーク)



増水時には都谷川からの氾濫水を受け入れ、東大洲の内水位上昇を抑制します。

多機能広場(貯留施設) 全体計画の概要

- ①事業名 ふれあいパーク整備事業
- ②事業主体 大洲市
- ③事業実施場所 大洲市東大洲(大洲IC北側付近)
- ④事業年度 平成17年度～平成25年度
- ⑤事業概要都市計画決定面積 3.3ha(施行面積2.3ha)
- ⑥貯留施設 池底面積 A=6,150m²
貯留容量 V=23,500m³
- ⑦通常時の利用 スポーツ広場、ストリートバスケット広場、遊びの広場等

越流状況



湛水状況



凡例

- : 浸水範囲
- : 排水ポンプ車と貯留施設がなかった場合の浸水範囲

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。